

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみつぼし・みかた			
○保護者評価実施期間	2025年9月20日		～	2025年9月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年9月20日		～	2025年9月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有	①毎日のミーティング 児童受け入れ前に前回利用時の状況を話し合って共有している。 ②毎月のミーティング 長期休暇期間や一日開所日の活動を話し合っている。また、利用児童の近況についても議題に上げている。	職員評価と保護者へのモニタリングを通じて個別支援計画を作成している。計画にある個別の療育目標や課題メニューについても職員間で話し合い、個別支援計画に基づいた療育の提供を目指す。
2	安全管理に関する意識	事故報告、ヒヤリ・ハット報告に加えて「プチヒヤリ・ハット報告」を作成している。リスク発生を未然に防げた事案も、可能性として職員間で共有している。	安全計画の充実を図り、療育提供時間内のリスク低減に加えて、車両や建物、周辺環境といったハード面のリスクも掘り起こす。
3	家族との連絡体制	①毎回こまめに連絡ノートに記載。降所後の引き渡し時にも利用児童の様子を伝えている。 ②LINEアプリを活用し、突発的な連絡や簡単な質問事項について即時対応している。	『みつぼし・みかた通信』の再開と、ホームページの充実を行い、事業所の活動方針や子どもの様子が伝わるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個々の利用児童にとって適切な居場所スペースの確保ができていない	特性により、他児の声や動きが負担になる児童もいる。ワンフロアでの活動では、衝立で仕切っても限界がある。 また、パニックとなった場合のクールダウンスペースも現在は廊下を利用しているが、個別の空間が必要である。	2階フロアを活用することで、児童の特性に応じたグループ分けが可能となる。クールダウン部屋の利用方法も含めて、職員で2階フロアの活用について検討する。
2	防災訓練・避難訓練の未実施	子どもの特性により、利用児童も含めた訓練の実施が難しい。 夏休みの行事として検討したが、近年の高温な気候を考慮して未実施。	消防計画、非常災害計画、BCPに則った訓練を実施する。 まず、職員を中心とした訓練を行い、その後、冬休み・春休みといった1日開所日に、利用児童も含めた訓練を行う。
3	地域住民や地元小学校との交流がない	地元区長とは立地上すぐに声をかけられる関係だが、地区としての係わりがない。また、開所日と地区行事の日程により参加が難しい。地元小学校は利用児童がいないため、接点がない。	①令和7年度より土曜日の開所も始まったので、子どもの特性に配慮しながら参加できる地区行事を調査検討する。 ②地元小学校は災害時の避難所でもあるため、避難訓練の実施に向けた相談から、顔の見える関係の構築を目指す。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスみつぼし・みかた

公表日 2025年9月29日

利用児童数 9

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	1	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0	お忙しい中、毎回丁寧に連絡帳で様子を知らせて頂いて本当にありがとうございます。お返事が書けない事が多く、申し訳ありません。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	2	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		

保護者への説明等 (つづき)	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	いつも温かく関わって頂き本当にありがとうございます。毎回楽しみに通っている我が子です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年9月29日				
事業所名		公表日 2025年9月29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	2班のグループ分けの支援体制	不穩、不安定になった利用者が落ち着ける場所の確保・トイレの数・2階スペースの利用方法の検討・2階が使用できれば改善されると思う
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	職員同士フォローできる関係	クールダウンの場所
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	遊び道具、課題教材置き場などの場所分けが出来ていて利用者も分かりやすい	遊び時間ボール遊びする利用者、カード遊びする利用者の区切りなく解放的である・事務室への動線が近い・畳コーナーの窓ガラス
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	食べこぼしの注意が必要な利用者は敷物を使用し、じゅうたん等汚れないようにしている・必要に応じてパーテーションで空間を仕切り、個々に必要な環境が設定できる	課題に取り組む人と遊ぶ人との空間
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4		個別のスペースが必要と思う・クールダウンに廊下を利用・現在廊下で対応・2階が使用できるよう利用者、職員共に周知して準備・2階が使用できれば改善されると思う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3		振り返り等必要だと思われる・こまめなミーティング・個別課題の適時見直し
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3		業務改善につなげていける事はつなげていきたい・送迎時の情報の共有
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティングで意見や連絡など話をする機会がある	長期休み時にミーティングが出来にくい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		今後の課題
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	専門分野の職員の配置がなされている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	問題が起きれば早めにミーティング	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	各月のミーティング	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	日々のミーティング	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2		課題の取り組み方・個別支援計画の目標に沿った課題の共有
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	支援記録の裏にサービス計画があること	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3		地域支援、地域連携・地域との連携の部分は未実施
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	長期休み時の一日の過ごし方	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	長期休業中利用では買い物体験など新たな活動を取り入れたり、休みの過ごし方を改善できた	今後の課題

適切な支援の提供（つづき）	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		個々の特性に合わせている・自立課題のバリエーションを増やしていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	現状を継続	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	次の利用時に反映できるようにしている・終了後は難しいが、次の日の打ち合わせで対応・勤務終了時間が違うため、翌日支援開始前のミーティングで前日の支援の振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		声かけのタイミング
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	現状を継続	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		職員間での共有が必要
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	課題を数点から選択してもらう	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	複数で参加	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		少し弱い
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		子どもの欠席時の情報
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		学校と家庭での違いについて
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		よくわからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		今後の課題
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		子どもの特性で難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	現状を継続	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		距離感で伝えにくい部分がある
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	家族に個別に対応している	今後の課題
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	現状を継続	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	連絡ノートの活用	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	現状を継続	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	問題が起きれば電話で事実確認	

保護者への説明等 (つづき)	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		今後の課題・保護者同士が自由に意見交換したり悩みの相談をする場があると良いと思う
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		早期の話し合い
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	LINEによる連絡体制・文書、ライン等により行なっている	今以上の周知が必要・LINEでの連絡体制で速やかな対応が可能になったが、もう少し通信等での情報発信をしていく・以前に通信を出したことがあったが現在は出しておらず、定期的な通信の発行が必要だと思う
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	守秘義務の大切さを都度話し合っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	カードの利用	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		今後の課題
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		取り組み中・周知、訓練ができていないものがある・緊急避難時の保護者への引き渡し場所などを再確認する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	6		非常時等の対応の訓練など必要と思われる・早期に取り組むことを計画している・計画の策定はされているので、実際の訓練を行う・BCP策定済み・訓練は今後実施する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	一覧表を作成している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	都度、確認・現在対象者がいない	現在、食物アレルギーのある利用者がいないが利用があった場合はしっかりと対応する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		今後の課題・今後、研修や訓練を行い周知が必要
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		現在、周知できるように動いている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	プチヒヤリハットも作成し、大きな事故にならないよう日頃から気をつけている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		強度行動障害児について踏み込んだ対応
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		研修会の実施・口頭での説明は行ったが、指導計画への記載が不十分だった・対象者無し